



**Q** 内向的な性格からいじめに遭って不登校になり、本意ではない高校に通う息子が可哀そうです。

**A** まずは子供さんを祝福しましょう。親御さんが前向きになれば子供さんにもプラスになります。

**親が気持ちを切り替える**

大人しい子供がしばしばいじめの標的になり、学校へ行けなくなったりするのは残念なことです。子供が不登校になると、親は出口の見えないトンネルに入ったような気持ちになります。いじめた子供たちやその親、学校の対応などに、親御さんとしては理不尽さを感じることでしよう。

けれども子供さんが辛い高校に合格し、再登校できるようになったのは、家庭の中で親御さんの愛情が支えになったからでしょう。

何はともあれ、子供さんは新しいスタート地点に立ったので

す。過去の複雑な思いばかりを抱え、「本意ではない高校」などと親御さんが感じていると子供さんにも伝わり、再び不登校にもなりかねません。

ここは親御さんが気持ちを切り替えて、息子さんの新しい門出を祝福してあげてほしいと思います。

**少し距離をおいて**

再登校するようになった子供に対しては、親が安心して放任してもいけないし、かといって過度に干渉し過ぎてはいけない

ん。子供と少々距離をおいて「見守る」ことが大切です。

これまで息子さんの気持ちに寄り添い、息子さんも「親は自分を理解してくれている」という思いがあるでしょう。ただ、それが強すぎると、子供は新しい環境に馴染みにくくなります。再登校し始めたときが大事な今は、こうした理由からです。

そんなときこそ子供を信じて、「大丈夫だからね、いつでも応援しているよ」と背中を押して、後は見守りましょう。忍耐して「待つこと」が大切です。親御さんの前向きな気持ち、子供さんに必ず勇気を与えます。